

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



宮城県仙台市 伊達政宗像

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動状況
3. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告
4. 現地支援活動報告①②
5. 現地・事務所協力員の感想文

災害対策本部からのお知らせ

現地協力員募集！！

引き続き現地協力員を募集しております。今月末にかけて、大変手薄な状態です。
特に1月28日(土)・29日(日)は、仮設住宅での医療福祉相談会を予定していますが、
現地担当者以外まだどなたからもご応募をいただいていない状況です。
通常は中3日以上のご活動をお願いしていますが、この28日(土)・29日(日)に関しては、
2日間のみのご活動でも、実働可能時間によってはご相談に応じます。
相談会は複数名でないと運営が難しいので、何卒ご協力をお願い致します。
詳しくは災害対策本部までご連絡下さい。

事務所協力員募集！！

事務所でも引き続き1月の協力員を募集しています。
現在特に手薄なのは下記の日程です。
ご協力いただける方は災害対策本部までご連絡下さい。

21日(土)午後 23日(月)午後 25日(水)午後 28日(土)午後 30日(月)午後

協会名入りベストと腕章を作成！！

現地では、仮設住宅入居者や在宅避難者を訪問する機会が多くなり、私達の身分を提示できる物の必要性が増してきました。
名刺やリーフレットは既に作成し使用していますが、一目見て分かる物ということで、ユニフォームを検討し、この度協会名入りのベストと腕章が完成しました。
季節に関係なく着用でき、着脱もしやすいスグレモノです。
皆様、現地に行かれた時は、ぜひご活用ください。



<連絡先>

災害対策本部 月～金：10:00 から 17:00 土：10:00～12:00

TEL：03-3351-5038 FAX：03-5366-1058 Mail：dsstsw@jaswhs.or.jp

現地支援活動状況

1月10日 現地メンバー：2名 天気：晴れ（4℃）

<活動内容>

- ・市役所にて茶話会会場使用申込み
- ・茶話会チラシ作成
- ・仮設住宅訪問面接（内訳：本人1）

1月11日 現地メンバー：1名 天気：雪のち晴れ（2℃）

<活動内容>

- ・生活・健康調査の集計と継続ケースを点検
- ・仮設茶話会の支援計画作成準備及び小規模仮設説明会持参資料検討
- ・事務所経費等の経理事務
- ・介護保険・身障などの資料集作成

1月12日 現地メンバー：1名 天気：雪のち晴れ（1℃）

<活動内容>

- ・生活・健康調査の集計と対応一覧表作成
- ・仮設団地茶話会ポスティング（7戸）
- ・河南母子保健センターにて仮設ケース検討会（32件）
- ・各団体開催の健康相談会等の日程調整と参加協力打合せ
- ・見守り隊のアルコール問題基礎研修+仮設事例検討会を計画
- ・祐HCにて石巻医療圏 健康・生活復興協議会 定例会

1月13日 現地メンバー：3名 天気：雪のち晴れ（1℃）

<活動内容>

- ・石巻市と来年度契約について、内容・員数の確認
- ・市役所にて茶話会会場予約
- ・仮設団地茶話会ポスティング（37戸）
- ・仮設住宅訪問面接（内訳：本人1）
- ・石巻災害復興支援協議会 仮設サロン支援連絡会議
- ・調査フォローケース一覧作成

1月14日 現地メンバー：2名 天気：晴れのち雪（1℃）

<活動内容>

- ・茶話会開催
- ・仮設住宅訪問面接（内訳：本人2）

1月15日 現地メンバー：3名 天気：晴れ（3℃）

<活動内容>

- ・茶話会開催
- ・仮設住宅訪問面接（内訳：本人1）

*茶話会については報告書を参照してください。

医療福祉相談会の報告

報告者 井関麻都香・武山ゆかり

1月14日・15日に平成24年初初めての仮設住宅における茶話会／相談会を実施しました。

1日目は20名、2日目は36名の方の参加があり、計56名の参加でした。

1日目の会場は195世帯分の住宅がありますが、その内入っているのが70世帯程です。互いにどこから来たのか知らず、日常では顔を合わせたり会話をする事はないとのこと。最寄りのスーパーまでは2kmあるため、買い物に行く場合は自家用車やバスを利用しないと行けません。八百屋・魚屋・パン屋・豆腐屋が売りに来ているそうですが、来たことを伝える時に、音を出すと「うるさい」という住民がいるため、来たことを知らせられない状況のようです。住民同士で情報交換をしないのと、音を出さないため、物を売りに来ていることを知らない方もいます。

2日目の会場は2つの団地に声を掛けて開催しました。500m程離れている小規模団地同士ですが、団地間で交流をしたことは無いそうです。車の運転ができる方が皆さんに声をかけて下さり、茶話会会場まで送って下さいました。

この2日間の茶話会会場では、凍結で水が出なく、電気をいっぺんに使うとブレーカーが落ちる事態があり、居住者に「もらい水」で凌ぐことができました。



配布したチラシ&ポスター



茶話会の様子



茶話会の様子

現地支援活動報告①

中村 武城（利根中央病院）

期間：1月8日～1月10日

1月8日、9日が連休であったため、公的機関や仮設住宅の管理等が留守であることが多かったため、平日の参加が必要と感じました。震災から10ヶ月が過ぎ復興に関する制度ができてきており、住民も義捐金受取りや被災認定の不公平感など制度の矛盾をかなり感じているように思いました。ある程度最新の情報を得ておくと住民との話も比較的スムーズにできると思います。

今回、被災地でワーカーとして支援できることに誇りを感じました。現地で経験した支援状況を自分の地域に持ち帰って周囲に実際に起こっていることを伝えることは実際に見たワーカーでしかできないことです。今回の震災は誰もが他人事ではないという意識になっているはずですが、万が一起きてしまったときにワーカーとしてニーズにあった動きができるよう今から災害に対して高い意識を持つべきだと思いました。そのためにも参加はとても大切なことだと思います。

現地支援活動報告②

井関 麻都香（相模原ロイヤルケアセンター）

期間：1月13日～1月16日

今回で3回目の参加です。今回は次年度の活動に向けて、石巻市へ補助金の申請をするところへ同行させていただきました。協会の活動は、市から補助金を頂いて成り立っていること、補助金を頂けるような活動をされてきた事がわかり、ここに至るまで大変なご苦勞があったことが推し量られましたし、またその価値が認められていることのすごさを実感しました。

災害復興支援協議会では、たくさんの団体が復興に向けて携わっている事が分かったとともに、横のつながりを更に密にしていく為にはどうしたら良いのかが話し合われており、それぞれの団体の熱い思いが伝わりました。6月・11月・1月と参加させていただきましたが、来る度に被災者の方の要望や必要な支援が変わってきている事、支援する側のアプローチの仕方や支援のつなげ方が変わってきていると事がわかり、大変勉強になりました。

現地感想文

1月10日(火)

夕方、冷たい風の中を、糠塚と遊楽館前の仮設230戸にポスティングしました。群馬からの中村さんも凍えながら暗い中頑張って下さいました。

1月11日(水)

本格的な雪!かと思ったら…午後には陽が出て道の雪は溶けました。でも寒かったです。

1月12日(木)

一番の寒さに山側地区を歩きました。雪がたくさん残っていて風も痛い程です。

でも、暖かいニュースで見守り隊(社協)との研修会・事例検討会が企画されています。これが、他の地区にも広がれば…と思います。

1月13日(金)

雪がちらつく中、井関さんの運転で走り回りました。市の対応はどの課も大変良くSWの仕事を理解してくれていて進め易い体制です。遊楽館からの歴代スタッフの仕事の積み重ねと実感しています。

1月14日(土)

どんなに晴れた日でも、1日に2、3回は雪がちらつきます。遊楽館前仮設前山団地は風の冷たいところで、開催前に集会所前の凍った雪を砕いて除けるのに難儀しました。寒い中、井関さんも雪かきを頑張ってくれ開会にこぎつけました。

1月15日(日)

昨夜の雪は山でも2センチほど、路面は日陰以外凍結なしでした!良い天気の日。今日は、午後水が出たので、幸せな気持ちの茶話会でした。

震災時の話が出ると、活発に話し出す方、沈んでいく方、上手に個人的に話しかけ、場を移してくれる仲間のSWの力量に感謝の運営でした。やはり2、3名ほどでの運営が有難いです。

事務所感想文

1月9日(月)

清水(初台リハビリテーション病院)

今日は祝日ということもあり、落ち着いた1日でした。災害からもう少しで1年が経ちそうですが、皆様と無理なく支援を続けていきたいと思えます。

1月10日(火)

一原(自宅)

今日は前現地担当者の佐藤さんがいらっしゃいました。2か月強、大変だったと思います。本当にお疲れ様でした!!また、今日は現地に行った方よりこの活動の広報や募集の方法についてアドバイスをいただきました。自分ではなかなか気づけないことも沢山あるので、とてもありがたいです。皆様もどうぞ忌憚のないご意見をお寄せください!

1月11日(水)

藤村(初台リハビリテーション病院)

現地ボランティアの1~3月のスケジュールの問い合わせを頂いたり、新たに参加を検討される方からも問い合わせを頂きました。新たに参加される方が少なくなってきたと感じていたところだったので、大変有難く、心強く、嬉しく思っております。

1月12日(木)

佐藤(自宅)

初めて事務所ボランティアに参加しました。現地での活動がスムーズにできるよう、様々なことが整備されていることに驚き、そしてありがたく思いました。できることを少しずつ、間接的であっても、現地に心を寄せていたいと感じる1日でした。

1月14日(土)

田玉(初台リハビリテーション病院)

今日は問い合わせや連絡等もなく、落ち着いていました。最近急に寒くなってきたので、被災地の方が体調を崩さずにお過ごしいただいていることを祈っています。